

自治体との協同（協同組合間連携から みえる地域づくり・まちづくり）



日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会
センター事業団 常務理事 中国事業本部 本部長 竹森 鉄

広島市「協同労働」プラットフォーム事業

(平成26年から開始)

- ・ 広島市がワーカースコープに委託
- ・ 主に60歳以上の市民による、協同労働を活用した地域課題解決のための事業の立ち上げを支援(勉強会の開催、専門家の派遣、補助金の交付等)
- ・ 現在、本事業により広島市内で19団体が成立

広島市「協同労働」プラットフォーム事業

(平成26年から開始)

- ・ 協同労働とは働く人が出資し、経営に参加し、自ら働く
- ・ 同じ想いの人たちが集まり、話し合いを通じて仕事をおこす
- ・ 広島市は集めた出資と同額の資金を補助する(上限100万)

支援内容

セミナー等の開催

- ・ 協同労働先行団体への視察機会の提供
- ・ シンポジウムや勉強会の開催
- ・ 地域の仕事おこしセミナーの開催
- ・ 交流機会の提供

など

マーケティング、ニーズ調査

- ・ マーケティング、ニーズ調査の支援
- ・ ミーティングブースの貸出し

など

ヒアリング、個別相談

- ・ 地域活動を始めたい個人の相談への対応
- ・ 地域団体の相談への対応
- ・ 仲間づくりに関する助言
- ・ 事業アイデア出し、具体的な検討の支援

など

事業計画の作成

- ・ 組織づくり、計画づくりの支援
- ・ 専門家による学習機会の提供
- ・ 地域のネットワークづくりの支援
- ・ 広島市補助金申請への対応

など

協力体制(ネットワーク)

ワーカーズコープ+広島県生協連+JA広島中央会+社協+NPO等

「協同労働」プラットフォーム事業(2014年から開始)

広島市

委託

ワーカーズコープ

支援

高齢者の事業

協力

プラットフォーム連絡会

中国労働金庫、広島県生協、連合広島、広島県労福協、JA
広島中央会、NPOセンター、市社協、経営者協会、シル
バー人材センター、ひろしま「協同労働」推進ネットワーク

事業課題を共有し、支援上のアドバイスを
いただく機関であり、地域課題を考えてい
る組織



広島市が進める協同労働モデル事業とは？

協同労働の仕組みを活用して地域課題の解決に取り組む意欲のある高齢者のみなさんを中心としたプロジェクトの立ち上げを以下の2方向から支援します。

支援 1 コーディネーターによる支援

経験豊富なコーディネーターが事業の立ち上げから立ち上げ後の運営まで寄り添って支援します。

支援 2 補助金の交付

事業の立ち上げの目的が立った団体に対して、立ち上げに要する経費の一部を補助します。

補助内容	補助金交付要件
補助率1/2 (上限100万円)	●広島市を拠点に活動し構成員が4名以上で、うち半数が60歳以上であること。 ●地域課題の解決に取り組み、地域の活性化につながる事業であること。 ●事業の継続に必要な収益が見込まれること。
年2回 (8月・12月予定)	

協同労働とは？

みんなが自らできる範囲で出資し、みんなが対等な立場でアイデアを出し合って人と地域に役立つ仕事に取り組む仕組みが協同労働です。仲間と共に地域課題の解決を目指し、一人ひとりが主人公となって取り組みます。

出資 + 経営 + 労働



ひとり一人が対等な立場で、地域に役立つ仕事に取り組む



【GO郷・まっむね】ご近所の方が作った農作物等を販売する「GO 郷市場」。

本事業の
問合せ先 広島市「協同労働」プラットフォーム らぼーひろしま

tel 082.554.4400 fax 082.554.4401
e-mail platform-hiroshima@roukyou.gr.jp

〒730-0802 広島市中区本川町2丁目6-11 第7ウエノヤビル

受託運営団体：NPO法人ワーカーズコープ

実施主体：広島市（事業担当課：広島市経済観光局 雇用推進課）

営業時間：平日10:00～18:00

休業日：土日祝・盆時期・年末年始



<http://kyodo-rodo.jp/>



60歳からの輝き方

～ 地域に役立つ仕事おこし～

自分たちの地域を
自分たちで守る



広島市では主に60歳以上の皆さんによる協同労働の仕組みを活用した地域課題解決のための支援をしています。

たすけあい、ささえあう地域へ。

 協同労働ひろしま

想があれば、あなたにもできる！

特別な経験やスキルがなくても仲間と一緒にやれば、あなたのやりたい事が協同労働でできます。

凡
例

農 農業 環 環境保全 困 困りごと支援 サ サロン 食 食事提供
伝 伝承 子 子ども支援 町 町内会等連携活動 場 地域活動の場提供 障 障がい者支援



① 東区牛田南町
うしたあらぐさクラブ
子どもたちに多様な教育の機会を提供するために学習支援を軸に子ども支援を行います。

子 構成員 7名



② 安佐北区白木町秋山河津川プロジェクト
耕作放棄地を利用した農業や高齢者の篤細工技術を継承して宝船等篤細工の製造販売をします。

農 伝 構成員 7名



③ 南区似島
サンセットビューにのしま
地域住民の方が気軽に立ち寄れるサロンや、島に訪れる人との交流を進める機会作りを行います。

サ 構成員 5名



④ 南区似島
シトラスガーデンにのしま
耕作放棄された畑を活用した柑橘栽培や、柑橘が身近にある暮らしの提案を行います。

農 構成員 4名



⑤ 西区三篠北町
みんなのわいわい広場
地域の高齢者がみんなでわいわい集える食事提供やサロン(居場所づくり)を行います。

サ 食 構成員 6名



⑥ 西区己斐本町
わくわくクラブ
認知症予防カフェによる高齢者の健康・居場所づくりを行います。

サ 構成員 4名



⑦ 東区福田
真正面
耕作放棄地の活用による野菜作りや、農業体験・収穫祭等での地域住民との交流の場づくりを目指します。

農 困 サ 構成員 8名

個人 | が集まりスタート



⑧ 安佐南区上安
夢咲庵
地域の居場所としての常時開設のサロン、住民の手作り作品の展示販売やおりづる製作も行います。

サ 構成員 5名



⑪ 安佐北区可部町
ケセラ
高齢者を含めた地域住民の方のコミュニティ作りを支援するためにテーマ型サロンや拠点解放事業を行います。

サ 場 構成員 5名



⑫ 安佐北区亀崎
タンポポのわたげ
地域住民の皆さんのコミュニティ再生を目標に、住民の方のご自宅の一角をお借りしたおうちサロンを進めます。

困 サ 構成員 22名



⑬ 安佐北区白木町井原
ひねもすようこそ
障がい者や高齢者が地域でいつまでも安心して生活ができるような交流の場づくりや困りごと支援を進めます。

困 サ 障 構成員 8名



⑨ 安佐南区伴
アグリ アシストとも
耕作放棄地や休耕田を整備し農と共にある景観を守るためJA広島市と連携して新しい形の農業を進めます。

農 環 困 構成員 14名



⑩ 安芸区畑賀
協同労働「里山ワッショイ」
休耕田を活用した景観向上や地域住民の交流の場づくり、農業体験、里山資源の有効活用等を進めます。

農 環 困 構成員 24名



⑪ 東区東山
元気で楽しい東山をつくる会
町内会加入率が下が中、マンションを中心にした全住民のコミュニティの再生を目指します。

環 サ 町 構成員 18名



⑫ 安佐南区伴東
GO郷・まつむね
地域の環境は自らの手で守るを合言葉に、里山整備や高齢者等の居場所づくり等を進めます。

環 困 サ 構成員 13名



⑬ 佐伯区河内南
サロンド・ワーク彩
高齢者等誰もが気軽に集えるカフェサロンを中心に、団地の賑わい作りを目指して事業を進めます。

困 サ 町 構成員 6名



⑭ 安佐南区伴東
すまいるワーク
地域住民の皆様がこの地域に安心して住み続けられるよう交流の場づくり(カフェサロン)等を進めます。

困 サ 構成員 8名



⑮ 安佐南区昆沙門台
びしゃもん台 絆くらぶ
町内会、学区社協、びしゃもん台絆くらぶがそれぞれ役割分担して、地域住民に高品質なサービスを提供します。

環 困 町 構成員 39名

社協・町内会 | の仲間です



⑯ 安佐南区八木
復興交流館 モンドラゴン
H26年の土砂災害からの復興・伝承を目指して地域のコミュニティ再生を進めます。

サ 食 伝 構成員 22名

※構成員の人数は、令和2年1月31日時点です。

立ち上がった19団体の構成員状況

2020年4月1日現在、協同労働実践団体構成員総数は225人。

	団体名	立ち上げ時	2015	2016	2017	2018	2019	2020
1	ひねもすようこそ	6 (3)	6 (3)	6 (3)	7 (4)	8 (5)	8 (5)	8 (5)
2	河津川プロジェクト	9 (7)	9 (7)	9 (7)	9 (8)	10 (9)	7 (7)	7 (7)
3	ケサラ	5 (4)	5 (4)	5 (4)	5 (4)	5 (4)	5 (4)	5 (4)
4	タンポポのわたげ	10 (10)	10 (10)	10 (10)	25 (22)	25 (23)	23 (23)	22 (22)
5	GO郷・まつむね	7 (7)		7 (7)	9 (9)	11 (11)	13 (12)	13 (12)
6	復興交流館モンドラゴン	14 (12)		14 (12)	18 (13)	21 (16)	23 (16)	22 (16)
7	すまいるワーク	8 (8)		8 (8)	7 (6)	8 (8)	8 (8)	8 (8)
8	サロンド・ワーク彩	7 (6)			7 (6)	6 (5)	5 (5)	6 (6)
9	東山ふれあいの街	16 (15)			17 (15)	18 (16)	18 (17)	18 (17)
10	サンセットビューにのしま	4 (2)			5 (2)	5 (3)	5 (3)	5 (3)
11	わくわくクラブ	4 (3)			4 (3)	4 (3)	4 (3)	4 (3)
12	里山ワッショイ	12 (10)			24 (12)	24 (13)	24 (13)	24 (13)
13	真正面	4 (4)				4 (4)	8 (8)	8 (8)
14	夢咲庵	5 (3)				5 (3)	5 (3)	5 (3)
15	びしゃもん台絆くらぶ	20 (20)					38 (35)	39 (36)
16	アグリ アシストとも	14 (14)					14 (14)	14 (14)
17	うしたあらぐさクラブ	7 (4)					7 (4)	7 (4)
18	みんなのわいわい広場	6 (4)					6 (4)	6 (4)
19	シトラスガーデンにのしま	4 (3)					3 (2)	4 (3)
計			30 (24)	59 (51)	137 (104)	154 (123)	224 (186)	225 (188)

※ 各団体とも、立ち上げ初年度は立ち上げた日の構成員数。それ以外は各年度4月1日の構成員数。

※ カッコ内は、うち60歳以上の高齢者数。

事例紹介

アグリ アシストとも

- 出資者(設立時)：14人
- 立上年度：2019年度
- 事業内容

①農業従事者困りごと支援事業

②農業持続支援事業

③地域環境整備事業

●特徴

- ・出資者が農業者、JA組合員
- ・JA支店との連携

(地域調査、情報提供、イベント協力、会議室利用、信用)

地域の農業を元気にする応援団



広島市「協同労働モデル事業団体」
地域オンリーワンの活動を目指す!!



伴・大塚の農業を
楽しく持続させる応援団



アグリ アシストとも

農業の困りごととは
わしらに!

草刈り、芝刈り、
田起こし、代かき
害虫駆除、植木の手入れ、
農機具の点検など農業に
関するお困り事など



農地でこんなお困りの方必し!

- ▼先延ばしにしてなかなか実行できない
- ▼ご近所から雑草のクレームがきていて
- ▼女性だけなので体力仕事ができない
- ▼忙しくて草刈りを行う時間が無い

たすけあい、ささえあう地域へ。

協同労働ひろしま

広島市は、地域に役立つ仕事おこしに
チャレンジする市民のみなさんを「協
同労働」モデル事業で支援しています。
上記団体は、広島市から「協同労働」
個別プロジェクト立ち上げ事業補助金
を受け、活動している団体です。

広島市
The City of Hiroshima

① 農業
従事者
困りごと
支援事業

体力面の支援、技術的、経営、資金面等
農業者の生活・経営・就業・生活の
困りごと・課題の解決

地域のお困り
ごと解決!

3本柱
事業

② 農業
持続
支援事業

農業が地域を賑わす、農の文化を伝える。
地域に定着するための活動の支援(農業者
の生活・就業・生活)の支援
日頃のサポート、農機具の点検 など

アグリ アシストともとは

伴・大塚の農業を持続させることを目
的とし、地域農業関連のお困りごとを
支援するために設立した地域に愛着を
持った活動団体です。
広島市「協同労働モデル事業団体」と
してJA広島市伴・大塚支店と
提携し、皆様に寄り添った活動を
実施しています。



事前に現地や内容を確認して御見合わせします。安心してお気軽にお問合せください。

【お問合せ】

住所：安佐南区伴中央7-16-47-4
代表：西本 正憲

【アグリ アシストとも事務局】

上垣内 保之 (080-3888-519)
谷 本 敏正



事例紹介

- JAでは手の届かない農に関する困りごと支援（草刈り、代かき、耕作）JAからは情報提供、広報、会議室提供
- 農のある風景、文化を守りたいという思い
- 協同労働での農業支援の他地域への波及効果
- JAとの連携はさまざま地域でひろがる「アグリアシストモデル」の可能性

日本農業新聞、JA福岡市、静岡県協同組合提携推進協議会などから視察

事例紹介

びしゃもん台絆くらぶ

- 出資者(設立時)：20人
- 立上年度：2019年度
- 事業内容

- ①生活困りごと支援事業
- ②生きがい就労支援事業
- ③住民主体の移動サービス

●特徴

- ・地区(学区)社協、町内会が母体
- ・ボランティアバンク10数件
→130人400件
- ・まちづくりプランに位置づけ

まちづくりの
新たな仕組み





協同労働

びしゃもん台 絆くらぶ

住みよいまちづくり



協同労働

びしゃもん台 絆くらぶ

住みよいまちづくり

想があれば、
あなたにもできる！

サポーター募集

このように
考えています。

特別な経験やスキルがなくても、仲間と一緒にやれば、あなたのやりたいことが協同労働でできます。

毘沙門台をさらに住みよい町にするため、絆くらぶを通じて、経験と意欲を生かしてみませんか。

絆くらぶは、非営利事業ですが、有償ボランティアを事業とします。

- ・ 手書き代書
 - ・ 剪定作業
 - ・ 除草作業
 - ・ 包丁ハサミ研ぎ
 - ・ 棚など木工ができる
 - ・ 障子ふすま網戸の張替
 - ・ 電気空調水道工事
 - ・ 門松づくり
 - ・ PCの設定復旧
- etc. まだまだ、検討中です。
次のページをご覧ください。
何か、技を習ってみたい、伝承してほしい方もどうぞ！



このようにできないか検討中です。
皆様の知恵・力をお貸しください。

 簡半 大工	 PC 設定	 家庭 教師	 宛名 書	 賞状 書
 除草	 剪定	 家事 手伝	 衣類 リフォーム	 ハピ ンター
 障子 襖張	 網戸 交換	 介護 補助	 家財 片付	 不用品 処理
 工 撤去	 土砂 撤去	 空家 空地の 世話	 戸 塗装	 包丁 剪定鋏 研ぎ
 囲碁 将棋	 大掃除 の手伝	 高圧 洗浄	 家庭 掃除 手伝	 軽トラ 運搬 支援
 門松 づくり	 消火器 回転	 住宅 警報器 回転	 簡半 電気 工事	

申込み・お問い合わせ：協同労働 **びしゃもん台 絆くらぶ** TEL 082-870-9060
〒731-0152 広島市安佐南区毘沙門台2丁目39-22 ふれあいセンター絆内
E-Mail : kizuna-club@hiroshima.mail.jp

申込み・お問い合わせ：協同労働 **びしゃもん台 絆くらぶ** TEL 082-870-9060
〒731-0152 広島市安佐南区毘沙門台2丁目39-22 ふれあいセンター絆内
E-Mail : kizuna-club@hiroshima.mail.jp

事例紹介

まちづくりの新たな仕組み

- 社協 × 町内会 × 協同労働
- 有償化(お金のやり取り)のメリット
- 「絆」が生まれる好循環
- まちの中から、得意技、専門技術をもった担い手の発掘
- 他地区の社協への波及効果



事例紹介

「協同労働」 里山ワッショイ

- 出資者：24人
(30代～70代)
- 立上年度：2017年度
- 事業内容
 - ①休耕田の活用と交流の場作り事業
(3世代交流農業体験「くま農園」)
 - ②困りごと支え合い事業
(電球交換、庭木剪定、草刈等)
- 特徴
 - ・メンバーは30代の子育て世代も

多世代で、常に
「楽しく」
地域のために



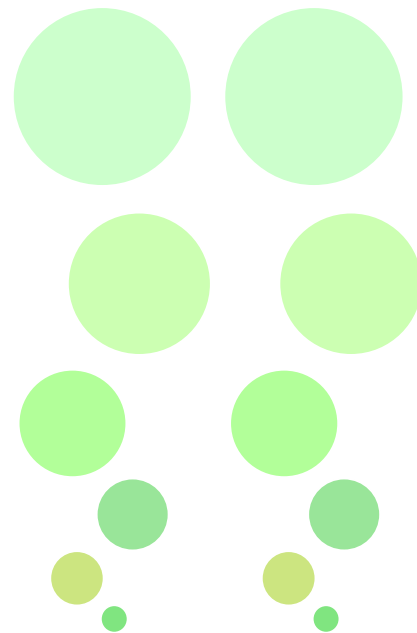
事例紹介

多世代で、常に「楽しく」、地域のために

- 赤字を出さない【継続性】

→出資者は12月の「反省会」で労働対価を得る

- それぞれができる範囲で【主体性】
- 楽しくないと続かない＝だから話し合う
- 地域生活と地続きの「労働」
- 若い世代(子育て中のお母さん)の参加



事例紹介

- 今現在、私は年齢が**43歳**、二児の母で上が小3、下が幼稚園の年長です。**10年後**、私は**53歳**。子供たちはそれぞれ**19歳**と**15歳**になっています。おそらく今ほど母親である私のサポートは必要とせずさっさと親離れしているかもしれませんね。そうしたらこの里山ワッショイとのかかわり方も今とは違った形になるかもしれません。今はくま農園と広報活動が私の主な役割ですが、**10年後**は困りごと支援の実働メンバーとなり、もしかしたら、草とりのスペシャリストとしてバリバリ活躍しているかもしれません。
- この協同労働の素晴らしい特徴は、様々な世代の人が、今だけではなく、これからの長い人生の上でその時その時、**自分のライフスタイルや置かれている環境の変化に合わせて、自分で選びながら働き方や、地域の方とのつながりを持てること**が大きな魅力と言えます。
- そしてこれから先、狭い世界にとどまらず、地域の方とのふれあいや、自分に出来ることを、できる範囲でやる活動を通じ、少しでも誰かの役に立てているという生きがいを得ることが出来ると思っています。
- 協同労働がそのきっかけを与えてくれたことに感謝し、これからもっと多くの方にこのような働き方や、理念を知ってもらい、広まっていく事を願ってやみません。

立ち上がった19団体が**協同労働に挑戦した理由**

○町内会・自治会活動、ボランティアの**限界**

- ・ 多様化するニーズに対応できない
- ・ 固定化した組織の限界
- ・ 継続・発展できる組織を作りたい
- ・ 持ち出しではなく、稼げる組織

○定年退職後は**社会貢献を仕事にしたい**

- ・ 楽しく生きがい就労を
- ・ 自分たちで自分たちの住む場所を守る「郷土愛」

○**仲間全員が主体的に関わる体制**を作りたい

- ・ 誰かが中心、他者が支えるではなく、みんなが主人公

6年間で見えてきた課題と可能性

○地域コミュニティの存続危機

⇒町内会自治会等の会員数の減少、
市街地への転居増

○日々生活する中での不安・問題

⇒高齢者の1人暮らし・買物難民
空き家増加・自宅管理等

○家族の在り方の変化

⇒核家族の増加

協同組合が
地域の中で
取り組んだ
問題・課題
そのもの！

協同組合は地域と出会い、発信し、
つながることで力が発揮されている

6年間で見えてきた課題と可能性

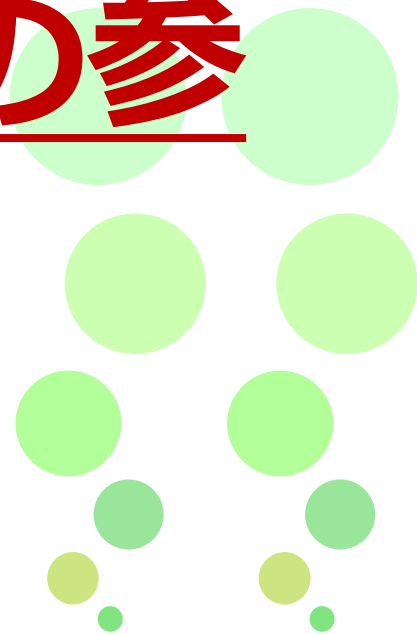
6年間で142の団体・個人が
「何かしたい・何とかしたい」
とプラットフォームに相談した



「自分たちが生まれ育った・長
年住んできた地域を何とかし
たい！」と思われた方々がこ
れ だ け い る ！

6年間の**成果**として

小さな共同体（19
団体）が増え
住民（225人）の参
画・自治
が始まった



6年間で見えてきた課題と可能性

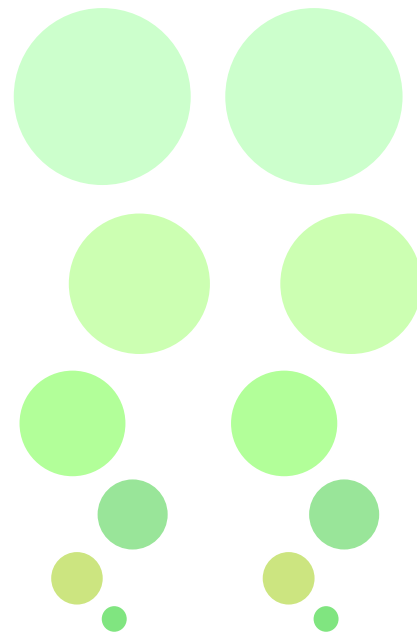
- ・ 過疎地域、高齢化の進む地域のニーズ、人材は見えるが、都市部は難しい
- ・ 起業ノウハウが最低限必要、コンプライアンス理解
- ・ ボランティア活動から抵抗感あり
- ・ 法人格がない。社会的な位置づけ、認知度、制度事業などへの挑戦が制限されるなど
- ・ 仲間作りが難しい。そこまではとか、他者（仲間）にも主体を求めるのが難しい。

6年間で見えてきた課題と可能性

- ・ 持続可能な組織づくり。高齢者に限ると現状に留まりがちになる。一方で50代の関心も高くなっている
- ・ 新たな協同組合間の連携が生まれてきている
- ・ 地域課題の解決を住民自治を中心にする人たちの理解が実績とともに広がり関心が生まれてきている
- ・ 点から面への広がりが始まり、地域間の協同も

協同組合による小さな共同体

- 共生と協同の文化の危機
- 東北の震災～FEC自給圏づくりの意味～
 - 物流網が寸断されるとたちまち食料がなくなる状況
 - 食料自給率40%が持つ危機
 - 「コミュニティケアとは何か」
- 世代間の格差
 - 人口減社会、2040年問題
 - アラフォークライシスの衝撃



協同組合による小さな共同体

『一人は万人のために、万人は一人のために』
が協同組合の理念。

協同組合は常に困ったことを
みんなで解決しようと生まれてきた

今求められるのは、小さな共同体（協同組合）
を地域に無数に市民自身の手で生み出すこと



世界を変えるための17の目標

協同労働 × SDGs = 持続可能な未来

私たち一人ひとりが主人公です！